

私は、ふた"人開くことか"で"き"た"い"話を開く  
ことか"で"き"を勉強にた、たし、と"も貴重に  
し時間た"、た"た"と思"いました。  
記事を書"いて良か、た"こと"もあ"れば、反打意  
見もあ、た"りし"を難し"い"た"と思"いました。  
文章を書"くこと"か"好き"に"て"き、か"けに仕事  
を見"つけ"られ"て、楽し"く仕事を"さ"せ"て"いると  
開"いて"す"こ"い"と思、た"し、私"も自"分の好"き"た  
こと"を活"かせる仕事"に就"きた"い"と思"え"ました。  
実際"に現場"に行、と"話を開"いた"ら、記者"た"か  
ら"こそ"で"き"ま"こと"もあ、た"りし"て"す"こ"い"と思  
い"ました。  
新聞"はと、と"いう"けど"全く"読"ん"で"い"た"か、に  
の"で、読"もう"か"た"と思"いました。

金さんの話をきいて、僕も社会に役立つ  
仕事で、自分の楽しいと思える仕事に就きた  
いと思いました。僕は、文字を読んだりする  
のがあまり得意でなく、さんなどのニコ  
スはよく見ています。新聞をしっかりと読  
たことがないので、これから新聞や本も読  
みたいと思います。

金さんの話で一番印象に残っているのはこ  
れから若者に必要になってくる力の話です。

コミュニケーション能力だけでなく、柔軟な  
対応ができるという能力も培っていく必要が

あるしわしゃしゃいましてたが、僕にはその  
能力があまり無い気がするので、無知のげ

いし思いました。僕も通して考えたりという考  
え方を意識した

うございしました。話をしていたときありが

今日はお忙しい中私たちに講演会を開いて  
くださりありがとうございました。新聞記者  
という仕事はあまりなじみがないので知らな  
い事がたくさんありました。例えばいつどの  
ような仕事をして何時には完成するかと普通  
に過ぎしていれば知らなかった事がたくさん  
ありました。たくさんの方が一つの新聞に関  
わって作られていらっしゃるんだなと改めて感じまし  
た。私は新聞をとっていらっしゃるのでもた色んな所  
に注目して見たいと思います。ありがとうございました。

今日は貴重な講演ありがとうございました。  
私の家では新聞をとっていないので、中々読  
むこともないので、記者さん方が読み手  
にいかにかかりやすく伝えるために沢山思考  
錯誤されていらっしゃると思います。今日では  
ネットでもニュースを見ることが多いので、  
今世界が日本で起きてくることにも、と興味  
を持ち、ニュースから沢山の知識を得たいと  
思います。

また、日本から先私たちにこのニュースは  
三ヨニかととても大事だと言われた。私は  
看護師を自給していきながら、このニュースは  
ニは必ず必要にな、てきます。人の意見に耳  
を傾け、返事ができる人になりたいです。

私が一番印象に残っていることは、今の高校生に必要な力は何かという質問に対しその答えです。一つの記事を深く読むことも大切だけど、たくさんのお記事を広く浅く読んで、同じ題材の記事を読み比べたりすることも大切なんだと思います。今後、記事を読む時には意識しようと思います。新聞記者の仕事を知り、その難しい仕事だと感じました。反対の内容の記事を書く取材を拒否されたり、たたかれたりすると聞きました。それでも、ニュースを伝えてくれる記者という仕事に感謝しように思います。

今回は、お忙しい中僕たちにお話をしてくださって、本当にありがとうございました。自分は普段よく丹波新聞を見ていますが、記者さんが読み手のことを考えて漢字を減らしたりなど、読みやすくしてくれているということを知りました。また、コロナの影響で中々取材も上手くいかないにも関わらず、読み手に正確に伝えられる記者さんの姿勢を改めて実感しました。新聞で、世の中のことや地域のことをよく知れるので、これからも新聞は読み続けたいです。今回は本当にありがとうございました。

金さんの話を聞いて、Xを原稿にすると  
ツヤ無知のウエールのニとに初めの？知主と  
とP考えよととあつた。取材する人の  
ニとに何度も取材し、その知主ニとに私を大  
叩いたニとに思いました。私の家が、神戸  
新聞をどうも読んで、新聞を今まであ  
まよ讀むニとにあつた。金さんの  
話を聞いて、新聞に興味を持つニとに  
のこのれが、その讀むようにしたいと思  
い、そのあつた。と、

金さんの話を聞いて私は新聞者の人の仕事を  
よく知りました。取材の時に話を聞いてそ  
れを記事にして少し否定するだけでグレーム  
がくると聞いて私はとても驚きました。新聞  
の取材内容を自分が取材したことを聞いて  
いると聞いて私は北の人の指示で動いている  
と思つていたのでとても驚きました。金さん  
の新聞者になつた理由が文を書くのが読むの  
が好きだからとおっしゃつて聞いて私はとても  
苦てなので自分にはあつてないなと思ひまし  
た。今回の話を聞いても、と新聞をあみだみ  
まで読んでいいこうと思ひました。

話を聞いて、新聞記者の仕事について深く  
知ることができました。特に印象に残ったの  
は、仕事をやる上下の大切にされていること  
についての話です。面白い、興味を持っても  
らうことだけでなく、誰かに役立つ情報も次  
山調べられているということが知れて良か  
たです。

今回お話を聞かせていただいて、新聞記者  
の方へのイメージが少し変わりました。私は  
今までその地域に起きたニュースや事件をほ  
とんど取り上げておられると思っていました  
が、それだけでなく日本や世界のおもしろい  
話や、理もれている話なども取り上げている  
と知り、普段あまり新聞を読まない私も読み  
たくなる内容だと思いました。私が一番印象  
に残っていることは、自分の書いた記事へ好  
んで賛成の声だけでなく批判の声もあるとい  
うことです。やはり人によって意見や考え方  
は違うので、はっきりと文字に残す新聞は書  
いてからたくさんの方の意見が出て、違う人に色  
々言われたりするのはいざいざと思います。  
だから私はこういう意見もあるのだという風  
に受け取め、これからもっと新聞に目を通し、  
楽しく読みたいと思います。

最近に新聞を読む人も減り、できている中で貴重なお話をして下さりありがとうございます。新聞者の方々のお陰で日々のニュースを知れたり、私もよく神戸新聞のビジネスを読むのがおかげで情報を得る事ができています。また記事を書くときには非反させるほどのリサーチがあることも知りました。間違、な情報をう欲おにせはり上うに自分な情報を見極めたいと思っています。

|    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 今日 | は | 、 | 貴 | 重 | な | お | 話 | を | し | て | い | た | に | 、 | あ | り | が | と |   |
| う  | ご | ざ | い | ま | し | た | 。 | 新 | 聞 | 記 | 者 | と | い | う | 職 | 業 | に | う | い |
| て  | は | な | ん | と | な | く | 知 | っ | て | い | え | 程 | 度 | で | し | た | か | 。 | 講 |
| 演  | を | 聞 | い | て | 、 | 任 | 事 | 内 | 容 | を | 詳 | し | く | 知 | れ | た | り | 、 | 新 |
| し  | く | 知 | れ | た | こ | と | か | た | く | 、 | 人 | あ | り | ま | し | た | 。 | 記 | 事 |
| を  | 書 | く | と | き | に | ろ | う | の | ポ | イ | ン | ト | を | 大 | 事 | に | し | て | い |
| る  | と | 言 | わ | れ | て | お | り | 、 | 私 | も | 実 | 際 | に | 面 | 白 | そ | う | な | 記 |
| 事  | や | ネ | ッ | ト | の | 記 | 事 | を | よ | く | 見 | え | の | び | 、 | 読 | み | 側 | の |
| 人  | が | 読 | み | や | す | い | よ | う | に | 記 | 事 | を | 書 | こ | う | と | 工 | 夫 | を |
| れ  | て | い | る | こ | と | が | 分 | か | り | ま | し | た | 。 | ま | た | 、 | 記 | 事 | を |
| 書  | く | か | 迷 | っ | た | 時 | 、 | 無 | 知 | の | ウ | エ | ー | ル | を | 被 | る | こ | と |
| を  | 想 | 定 | し | 、 | 租 | 手 | の | 立 | 場 | に | な | っ | て | 記 | 事 | を | 書 | く | こ |
| と  | に | し | て | い | え | と | い | う | お | 話 | が | 一 | 番 | 印 | 象 | に | 残 | り | ま |
| し  | た | 。 | 日 | 常 | 生 | 活 | で | も | 、 | 自 | 分 | に | け | び | に | な | く | 租 | 手 |
| の  | こ | と | も | 考 | え | て | 過 | ご | 可 | こ | と | が | 大 | 切 | だ | と | 改 | め | て |
| 感  | じ | ま | し | た | 。 | 私 | も | 費 | に | 向 | か | っ | て | 頑 | 張 | り | ま | す | 。 |
| あ  | り | が | と | う | ご | ざ | い | ま | し | た | 。 |   |   |   |   |   |   |   |   |